

環境協力に関する海外動向の概要

国名	政策（目標と目的、戦略等）と関連計画等	重要課題・分野等
<p>オーストラリア AusAid</p>	<p>目的： 途上国が貧困を低減し、持続可能な開発の達成を支援することにより、豪州の国益を増すこと（援助が豪州によるものと特定可能でなければならない）。</p> <p>優先地域： PNG、太平洋島嶼国、東アジア最貧国。</p> <p>国家戦略： 貧困低減支援、経済成長促進、人的資源への投資、社会的弱者保護。 環境問題に対する2方向からのアプローチ 全援助活動の立案・実施における環境影響の考慮。 気候変動等地球規模問題を含む環境問題を直接対象とした活動ポートフォリオの作成。</p> <p>関連計画等： AusAID Corporate Plan 2001 - 2003</p>	<p>5つの優先分野： 健康 教育 農村開発 ガバナンス インフラ</p> <p>開発過程全体に関わる重大な課題： ジェンダーと開発 環境</p>
<p>カナダ CIDA</p>	<p>目標： 貧困低減・途上国の持続可能な開発支援、中東欧の民主主義の発展・経済自由化支援等。</p> <p>関連計画等： CIDA s Policy for Environmental Sustainability (1992) Our Commitment to Sustainable Development (1997) CIDA s Sustainable Development Strategy 2001-2003</p>	<p>基礎生活分野 (BHN) ジェンダーの平等 インフラ整備 人権、民主主義、ガバナンス 民間セクター支援 環境</p>
<p>EU</p>	<p>目標： 途上国の貧困撲滅支援、持続可能な開発促進。</p> <p>使命： 環境と持続可能な開発を開発協力の全局面に統合し、自然資源、特に熱帯林の持続可能な管理に貢献。</p> <p>環境に対する使命： 生活質維持・改善：自然資源保全、リスク評価・管理、法整備の実施、資源効率向上：生産、消費及び廃棄物処理対策、環境問題の他の政策分野への統合、現在及び将来世代の経済、社会及び環境ニーズを考慮したEUの成長促進、地球規模問題：特に気候変動及び生物多様性</p> <p>関連計画等： Treaty of Amsterdam(1997) European strategy for sustainable development (2001) Sixth Environment Action Programme. Environment 2010: Our future, our choice(2002～)</p>	<p>分野： 文化、分権的協力、漁業、林業、食糧援助と食料安全保障、ジェンダー、健康、情報化社会、民間部門、地域統合、研究、農村政策、持続可能な開発と環境、社会 - 人間、NGOへの支援、貿易、運輸、水</p> <p>環境テーマ： 生物多様性 気候変動 淡水資源及び湿地 土地資源管理と砂漠化 海洋資源と沿岸管理 汚染管理 熱帯雨林 都市環境 マクロ経済政策 民間部門の発展</p>

国名	政策（目標と目的、戦略等）と関連計画等	重要課題・分野等
フランス AFD	<p>目標： 持続可能な開発への貢献に関する独自の哲学に基づく支援。</p> <p>使命： 技術移転及びトレーニング フランス地球環境基金(FGEF)の事務局 金融商品による資金支援</p>	<p>3つの課題： 生産的投資の強化 基礎教育・健康・飲料水へのアクセス 都市開発・農村地域における地方振興</p> <p>横断的課題： 環境の保全 貧困の撲滅 男女間の不平等の低減</p>
フィンランド	<p>目的： 世界安全保障の促進 広範囲に及ぶ貧困の低減 人権と民主主義の普及 地球環境問題の防止 経済対話の促進</p> <p>関連計画等： Decision-in-principle on Finland's Development Cooperation(1996) Finland's Policy on Relations with Developing Countries(1998) Operationalisation of Development Policy Objectives in Finland's International Development Cooperation(2001)</p>	<p>重要分野： 環境及び自然保護プログラムの支援 環境の保全に焦点：林業、水・衛生プロジェクトに出資</p>
ドイツ GTZ	<p>目標： 生活及び労働環境改善、生活のための自然基礎の持続。 知識とスキルの移転・活用による組織・制度的対応能力の向上。 ドイツ政府・他国公的・民間クライアントの特命遂行。</p> <p>環境担当部局： 環境管理、水、エネルギー、輸送局： 環境政策及び制度開発、輸送・移動、水・廃棄物管理、持続可能なエネルギーシステム、ビジネス・産業におけるエコ・エフィシエンス</p>	<p>土地利用、砂漠化管理、山岳地域、農業、農業研究、緊急援助、危機回避、環境管理、気候コントロール、エネルギー、教育、水、廃棄物、経済発展及び雇用促進、貿易、国家(state)及び経済改革、健康、熱帯林、生態系の保全、インフラ、適切な技術、ジェンダー、貧困緩和、自助</p>
オランダ	<p>目標： 持続可能な方法による貧困の克服 最貧国に焦点(アフリカ、南アジア)</p> <p>方針： 援助政策の基本方針「Aid in Progress」(1996) 援助政策の外交政策への統合、外務省とその他関係省庁間の政策の整合性 国・地域ではなく、主要な援助分野に従った2国間援助の方向付けと、可能な範囲でのプロジェクト援助からプログラム援助への移行 オーナーシップとパートナーシップに基づき、各国事情を反映した国別アプローチの強化 人間開発分野(貧困削減と社会開発)への取</p>	<p>優先的 18ヶ国選定の基準 貧困の程度 地方の社会経済政策(経済的取組の健全性、教育への出資、雇用、女性の地位等) グッドガバナンス(公的支出の透明性、誠実さ(probity)及び市民サービス、公正な裁判、軍事支出、人権)</p>

国名	政策（目標と目的、戦略等）と関連計画等	重要課題・分野等
	<p>組強化 評価・モニタリングの強化</p> <p>第二国間援助政策(1999): 最貧国をターゲットとして長期的支援の「二国間構造援助」(社会・経済政策、ガバナンス、貧困レベルを基準に18ヶ国選定)と「テーマ別援助」(環境プログラム、人権・平和構築・「良い統治」、民間セクター開発(主にオランダ製品輸出促進)の3分野)に分類。</p>	
<p>ノルウェー NORAD</p>	<p>目標: 途上国の政治的、経済的、社会的な状況の持続的な改善の達成支援。最貧層への支援を強調。</p> <p>5つの主要目的: 貧困撲滅、平和・民主主義・人権、地球環境と生物多様性の管理・利用、紛争・自然災害、全ての社会における男女平等と機会均等</p> <p>開発協力の原則: アンタイド。ノルウェー製品購入を援助条件にはしない。 資金返還の必要なし。しかし、投資はパートナー国に利益をもたらさなければならない。 全ての投資は貧困削減に向ける。 投資は受領者の「所有権」に基づいたものでなければならない。例:国自身の責任とコントロールによる開発</p> <p>関連計画等: NORAD invests in the future - NORAD strategy 2000-2005</p>	<p>開発協力の焦点エリア 社会開発 経済開発 平和、民主主義、人権 環境と自然資源管理 紛争と災害時における人道的援助 女性とジェンダーの平等</p> <p>環境援助のプライオリティー: 持続可能な生産システムの開発 生物多様性の保全と利用 土壌、大気、水質の汚染削減 文化遺産の保全と文化景観の管理 支援国のプライオリティーに基づき、水資源管理と持続可能な農業を強調。 開発政策への環境配慮を統合するための被援助国のキャパシティー強化に焦点。 公害防止手段を特に強調。</p>
<p>スウェーデン SIDA</p>	<p>目標: 世界の貧困層の生活環境の向上</p> <p>6つの特定の目的: 経済成長、経済的、政治的独立、経済的、社会的衡平、社会における民主主義の発展、自然資源の長期的、持続可能な利用と環境保全、男女の平等</p> <p>中欧・東欧諸国との協力のための特定目標 共通した安全の促進、民主主義文化の深化、社会的に持続可能な経済移行の支援、環境的に持続可能な開発の支援</p> <p>関連計画等: Guidelines for Environmental Impact Assessments</p>	<p>優先課題: 水資源 持続可能な農業と林業 土地保全 都市環境問題</p> <p>特定プログラム: SIDA Water(水資源) Baltic Sea(バルト海各国環境問題全般)</p>

国名	政策（目標と目的、戦略等）と関連計画等	重要課題・分野等
英国 DFID	<p>目標： 2015 年までに世界の貧困を半減：経済成長、 衡平性、安全保障 貧困撲滅と女性の権利拡大 貧困者の人権の理解 持続可能性の達成：貧困削減と環境 貧困者のための健康改善 普遍的な教育への挑戦 水資源の危機への本格的な取組 貧困者のために働く政府の実現 都市貧困への挑戦の実現</p> <p>関連計画等： 1997 White Paper Eliminating World Poverty: A challenge for the 21st Century 2000 White Paper Eliminating World Poverty: Making Globalisation Work for the Poor</p>	<p>野心的かつ現実的な目標： 経済的福祉：2015 年までに 極度な貧困状態下にある人々の半 減 全ての国での普遍的な初等教育の 達成 初等、中東教育におけるジェンダー の平等と女性の権利拡大の進展 乳幼児と5歳以下の子供の死亡率 を3分の2に削減、妊婦死亡率を4 分の3に削減 リプロダクティブヘルスに関するプ ライマリーヘルスケアシステムの確立 環境的持続可能性と再生：2015 年ま でに 地球的、国家的なレベルで環境資源 の損失傾向が効果的に逆転するた めに現行の持続可能な開発への国家 戦略を2005年までに実施すること。</p>
米国 USAID	<p>目標： 途上国の人々の生活を改善しながら、米国の 外交政策上の利益に関して、「民主主義」と 「自由な市場の拡大」という二重の利益を達成 する。 災害被災国、貧困低減に取り組む国、民主主 義へ改革中の国への援助。 USAID のプログラムは米国が深刻な脅威にさ らされる前に海外の主要な環境問題に果敢に 取り組む。 プログラムは経済成長、地球レベルの保健衛 生、技術移転、紛争防止を促進する。それら のプログラムは、現在と未来の自然環境が、 人類の生存に必要な物資とサービスの継続 的生産を維持するための活動を支援する。 環境的持続可能性を USAID の全体的目標 に統合する。</p> <p>関連計画： Foreign Assistance Act, Part I, Section 117 - Environment and Natural Resources Foreign Assistance Act, Part I, Section 118 - Tropical Forests Foreign Assistance Act, Part I, Section 119 - Endangered Species Foreign Assistance Act, Part I, Chapter 7 - Debt for Nature Exchanges Foreign Assistance Act, Part - Enterprise for the Americas Initiative Foreign Assistance Act, Part - Tropical Forest Conservation Act</p>	<p>焦点： 一つのドナーでは対応できない長期 的に有害な、国レベル、地球レベルの 環境汚染(2001年度行動計画) 世界環境の長期的持続可能性の 保護 生物学的に重要な生息地保全の 改善 地球規模の気候変動危機の削減 都市人口の適切な環境サービス へのアクセスの改善 環境的に適切なエネルギーサー ビス提供 持続可能な自然資源管理の促進</p>